

平成30事業年度

決 算 報 告 書

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

国立大学法人和歌山大学

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,948,006,000	4,000,434,936	52,428,936	注1)、注2)
うち補正予算による追加	—	16,681,000	16,681,000	注2)
施設整備費補助金	209,280,000	195,178,246	△ 14,101,754	注3)、注4)
うち補正予算による追加	—	53,417,446	53,417,446	注4)
補助金等収入	77,673,000	67,590,470	△ 10,082,530	注5)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	26,000,000	26,000,000	—	
自己収入	2,609,999,000	2,643,786,477	33,787,477	
授業料、入学金及び検定料収入	2,499,588,000	2,486,864,256	△ 12,723,744	注6)
雑収入	110,411,000	156,922,221	46,511,221	注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	242,139,000	263,548,919	21,409,919	注8)
目的積立金取崩	—	1,799,889	1,799,889	注9)
計	7,113,097,000	7,198,338,937	85,241,937	
支出				
業務費	6,558,005,000	6,589,526,925	31,521,925	
教育研究経費	6,558,005,000	6,589,526,925	31,521,925	注10)
うち設備災害復旧事業	—	16,681,000	16,681,000	注2)
施設整備費	235,280,000	221,178,246	△ 14,101,754	注4)、注11)
うち基幹・環境整備（ブロック塀対策）	—	3,844,800	3,844,800	注4)
うち災害復旧事業	—	49,572,646	49,572,646	注4)
補助金等	77,673,000	67,590,470	△ 10,082,530	注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	242,139,000	195,733,505	△ 46,405,495	注13)、注14)
計	7,113,097,000	7,074,029,146	△ 39,067,854	
収入－支出	—	124,309,791	124,309,791	

- 注1) 前年度中の運営費交付金収益化額が見込額より少なかったことに伴い当年度へ当該債務を繰り越したこと及び予算段階では予定していなかった特殊要因経費（年俸制導入促進費）の追加配分があったこと等により、予算金額に対して決算金額が52,428,936円多額となっています。
- 注2) 運営費交付金には、平成30年度補正予算（第二号）により追加措置された16,681,000円が含まれています。
- 注3) 主として事業の一部が翌年度に繰り越されたことにより、予算金額に対して決算金額が14,101,754円少額となっています。
- 注4) 施設整備費補助金には、平成30年度補正予算（第一号）により追加措置された15,919,200円、平成30年度補正予算（第二号）により追加措置された37,498,246円が含まれています。
- 注5) 補助金等が見込よりも少なかったことにより、予算金額に対して決算金額が10,082,530円少額となっています。
- 注6) 主として授業料収入が見込よりも少なかったことにより、予算金額に対して決算金額が12,723,744円少額となっています。
- 注7) 主として教員免許状更新講習料収入が見込よりも多かったこと及び保険金受入があったことにより、予算金額に対して決算金額が46,511,221円多額となっています。
- 注8) 主として寄附金の獲得が予定を上回ったことにより、予算金額に対して決算金額が21,409,919円多額となっています。
なお、決算金額には、前年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額のうち当年度支出額49,841,934円が含まれています。
- 注9) 前事業年度の剰余金の処分において、中期計画に記載された剰余金の使途について繰越承認を受け、当該事業の財源に充てたため、予算金額に対して決算金額が1,799,889円多額となっています。
- 注10) 主として教員人件費が見込よりも多かったことにより、予算金額に対して決算金額が31,521,925円多額となっています。
- 注11) 注3)により、予算金額に対して決算金額が14,101,754円少額となっています。
- 注12) 注5)により、予算金額に対して決算金額が10,082,530円少額となっています。
- 注13) 主として寄附金事業による支出が見込よりも少なかったことにより、予算金額に対して決算金額が46,405,495円少額となっています。
なお、決算金額には、前年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額のうち当年度支出額49,841,934円が含まれています。
- 注14) 科学研究費助成事業の間接経費は、決算報告書では収入の「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」、支出の「産学連携等研究経費及び寄附金事業費等」に計上していますが、損益計算書では経常収益の「研究関連収入」、経常費用の「業務費」及び「一般管理費」に計上しています。